

**就労支援事業報告**

● 事業目標

- 1、メンバーと職員が充実感を感じ、笑顔でいきいきと過ごせる原作業所にする。
- 2、新規メンバーの受け入れと、既存メンバーへのケア
- 3、施設外就労、就労支援の充実
- 4、関係機関や地域住民、ボランティア、メンバー家族との交流をより深める。
- 5、従たる事業所設置への検討と準備。

● 事業報告

- 1、メンバーとのコミュニケーションを大事にし、より良い関係を築けてきた。笑顔も増え、作業所の雰囲気も良くなった。メンバー会議での発言も増え、新しい作業にチャレンジする方が増えた。
- 2、29年度は9名の新規メンバーと契約した。既存メンバーには声掛けや不安解消を行い、安心感を損なわないよう努めた。→1と2の結果、一日平均利用者数も28年度実績13.3人に対し、15.0人と29年度目標の15名に達することができた。
- 3、29年度中に3名がステップアップできた。内訳は一般就労1名、就労継続支援A型1名、就労移行支援1名。
- 4、関係機関やボランティアとは28年度より交流を深めることができた。地域住民とメンバー家族は28年度と同等であった。
- 5、従たる事業所設置は、シフォンケーキの販売店という方向性が固まってきた。今後は課題の整理と場所の検討を行う。

原作業所	1日平均(人/日)												
通所人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	13.4	11.8	13.1	13.4	12.7	11.7	12.4	12.8	13.4	14.4	15.7	15.1	13.3
29年度	15.4	14.6	14.3	16.0	15.1	16.5	15.5	15.2	14.0	13.7	14.6	14.5	15.0

**授産への取り組み**

● 活動報告

- ・シフォンケーキが「ときめきセレクション2017」で入賞した。その後関連の販売やイベントに出店し、売上げが上がった。
- ・下請け作業は「グリーンコープ帳合」「ペーパークラフト材料作成」「行楽用品作成」「スタンプ押し」「公民館清掃」「市政だより・公民館だより配布」「ぱど配布」を行い、安定してメンバーの仕事と収入を確保できた。
- ・毎月レクリエーションを開催し、行楽・外食・買物・カラオケ・季節の行事など楽しみ、交流を深めたり、余暇の過ごし方の練習を行うことができた。
- ・冷凍庫故障により買い替え。送迎車両不足により中古普通車購入。指定申請の為の安全対策工事を行った。厨房の衛生面向上の為、専門業者による害虫駆除やグリストラップ清掃を行った。

● 自主製品(シフォンケーキ、クッキー、ジャム)の販売報告

- ・注文…32ヶ所から注文があり、年間約44万円の売上。
- ・納品…7ヶ所に納品させて頂き、年間約46万円の売上。
- ・バザー…30ヶ所のバザーに出店及び納品をし、年間約58万円の売上。
- ・定期販売…早良区役所・城南区役所・西区役所への定期販売と、店頭販売を合わせ、年間約15万円の売上。

● 成果のあった点

- ・シフォンケーキ入賞により、アピールポイントが増え宣伝がしやすくなった。販売機会も増え、売上げ増に繋がった。
- ・冷凍庫買い替えの際、大型化したことで、在庫数を増やせるようになり、作業に余裕ができた。
- ・ラベルライターを導入したことで「商品の見栄えアップ」「作業の効率化」「メンバーの新たな仕事」ができた。
- ・シフォンケーキのリーフレットを作成し、販売時に売るだけでなく、宣伝も行えるようにした。

● 今後の課題となった点

- ・小型オープン1台しかない為、シフォンケーキが1日10ホールしか焼けない。設備拡大を検討中。
- ・工賃アップの為に自主製品の売上を増やす。下請け作業と両立できる店頭販売の方策や、販売店舗確保等を検討中。

**その他**

● 実習の受入

- ・実習生を19名を受入れた。(内訳は、麻生医療福祉専門学校から1名、FCフチガミ医療福祉専門学校から1名、西南学院大学から一日体験実習で3名、国際医療福祉大学から一日体験実習で14名)

● 年間行事の実施状況報告

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 4月:お花見               | 10月:カラオケ、買物ツアー(木の葉モール・ニトリ) |
| 5月:事業所見学ツアー(オアシス)    | 11月:買物ツアー(伊都菜彩、おさかな天国)     |
| 6月:バスハイク(大分県日田市)     | 12月:つばめ工房にてクリスマス会          |
| 7月:買物ツアー(木の葉モール・ニトリ) | 1月:初詣、ぜんざい会、新年会(山賊や)       |
| 8月:食べ放題(すたみな太郎)      | 2月:DVD鑑賞会(ランチ・お菓子付き)       |
| 9月:合同スポーツ大会参加(卓球バレー) | 3月:カラオケ、お花見                |

● 会議、研修等

- |                      |                |                 |
|----------------------|----------------|-----------------|
| ・スタッフ会議(24回/年)       | ・「工賃向上セミナー基礎編」 | ・「人権を尊重する市民の集い」 |
| ・早良区医療福祉連絡会議(4回/年)   | ・「工賃向上セミナー実践編」 | ・「まなび会」         |
| ・精福協定例会議(10回/年)      | ・「就労支援基礎研修」    | ・「心のネットワーク研修会」  |
| ・凸凹ネットワーク定例会議(12回/年) | ・「就労支援フォーラム」   | ・「当事者研究研修」      |
| ・凸凹ネットワーク施設長会(2回/年)  | ・「食品衛生講習会」     |                 |
| ・みんなの集い(1回/年)        | ・「精福協勉強会」      |                 |

H29年度 職員体制	常勤	非常勤	常勤換算
	3	3	5.0

## ●B型事業の促進とサービス提供の充実

- ・人員の充実:常勤3名、非常勤3名体制をとり業務の分担を行い、支援の充実を図る。
  - ・職員のスキルアップ:自発的に行動の出来る職員の育成
  - ・連携:関係機関との連携を行い、支援の充実と利用者の確保を行っていく。
  - ・就労へのアプローチ:担当者会議の開催依頼、Drとの面談を通じて就労までの支援方針の決定を行っていく。
  - ・家族交流:家族懇談会の開催、利用者支援における家族連携の強化
- ⇒ 常勤4名、非常勤1名体制をとり、業務引き継ぎ、分担を行う。日常業務と並行して取り組むなかで、時間を効率的に活用し、かつ、見通しを持って行動することが必要。
- ・関係機関との早期相談・連携により、支援の充実および確保に繋がった。そのなかでも、社会参加の提供が必要とされる相談が増えているのが現状である。将来的な就労支援アプローチを充実させるためにも、専門スキルの習得や就労支援機関との連絡・連携強化を図りたい。
  - ・家族懇談会開催(6/17)家族の協力体制の可否が分かれてきている。関係機関のフォローも必要。

## ●地域連携

- ・舞鶴地区:公民館及び小・中学校関連への行事の参加
  - ・その他:自治協及び地域関係機関との連携
- ⇒ 校区内行事(夏祭り、運動会など)へ積極的に参加。来店、予約状況においても地域関係機関への認知度が高まっている。

オアシス	1日平均(人/日)												
通所人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	8.7	9.2	9.8	10.5	9.7	10.5	10.5	11.4	10.5	10.1	11.0	10.1	10.2
29年度	9.3	10.2	10.2	10.5	11.5	10.5	9.9	10.9	11.3	10.4	10.6	10.7	10.5

## 授産事業報告

## ●事業目標と計画

- ・接客対応、サービスの向上:来客対応マニュアルの適宜見直し
  - ・あいれふビルとの連携、協力での事業展開:健康づくりサポートセンターとの連携メニューも定番化
  - ・コストダウン:経費の見直しを適宜行っていく。
  - ・販路開拓:弁当配達および、ケータリング事業の拡大
  - ・メニュー開発:季節メニューの開発、新規展開の模索
  - ・利用者工賃の向上
- ⇒ 定期的に会議を開催し、喫茶(メニュー、店舗、対応など)の見直しを行うとともに利用者への相談・周知の徹底を実施。利用者にとっての『働く場所』としての意識付けを行うが、温度差がある。
- ・健康づくりサポートセンターとの連携メニュー(健康志向ランチ)の定番化(毎週木曜日)
  - ・販路開拓は実現できていない。(人員確保、開拓への活動など課題あり)



## ●H29年度課題

- ・珈琲ショップ【Slowth】の開設に伴い、人員の確保が必要
  - ・店舗等室温管理の対策が必要
  - ・関係機関との連携による、授産品の模索
- ⇒ 珈琲ショップ【Slowth】については合意書を交わし、利用者の訓練の一環として業務を主体的に任せられている。営業予定日を事前に設定し、確実に人員確保を行えるよう配置。外部出店にも参加できた。
- ・店舗等室温管理は、引き続き対策が必要。
  - ・喫茶メニューの他、自主製品による販売強化を模索。

## その他

## ●実習の受入予定

- ・筑紫女学園大学(7～8月:2名)
- ・麻生医療福祉専門学校(2月:1名)
- ・屋形原特別支援学校(11月:1名)
- ・国際医療福祉大学(9月～2月:14名)

## ●職員研修、スタッフ会議、その他行事予定

- ・スタッフ会議(毎月1回以上)
- ・就労支援連絡会(5月、7月、11月、2月)
- ・福祉施設新任職員研修(5月:1名)
- ・福祉車両安全運転講習会(5月:1名)
- ・就労移行支援事業所研修会(7月:1名)
- ・感染予防研修(10月:1名)
- ・筑紫女学園大学実習懇談会(2月)
- ・人権啓発センター講演会(3月)
- ・舞鶴地区夏祭り(9月)
- ・ハートメディア(9月)
- ・合同スポーツ大会(9月)
- ・障がい者記念の集い出店(12月)
- ・X'mas会(12月)
- ・あいれふ定例会(毎月第2木曜日)
- ・ちゅうちゅうねっと研修会(9月、2月)
- ・福岡市精神保健福祉協議会(毎月第2土曜日)
- ・精神保健福祉基礎研修(6月:1名)
- ・食品衛生管理者研修(6月)
- ・あいれふ防災訓練(9月、3月)
- ・サービス管理責任者研修(2月:1名)
- ・アルコール講演会(3月:1名)
- ・舞鶴地区運動会(10月)
- ・健康フェア(10月)
- ・西南学院大学学園祭出店(11月)
- ・みんなの集い(2月)
- ・初詣(1月)

H29年度 職員体制	常勤	非常勤	常勤換算
	4.0	1.0	4.6

## ● 事業目標

1. 生活訓練事業の休所による収入減を補うべく、B型の一日の平均利用者を定員の20名を目標とし、運営の安定を図る。
2. 利用者が自分の未来に夢を持てるように、自分の希望をかなえられる場所でありたい。そのために利用者との距離が近い、それぞれの事情に沿った個別の支援を強化する。
3. 利用者がのびのびとできる自由な雰囲気をつくり、自分の本領を發揮できる活気ある場としたい。
4. スタッフ技術向上のための研鑽、研修。
5. 他機関、計画相談事業所との連携。

## ● 事業報告

1. 平成28年度より手芸作品のレジンアクセサリーの制作を開始したが、現在作った分は必ず売れる人気商品となっている。利用者だけでも制作できるようになり、それぞれの自信にもつながっている。地下鉄西新駅MOMOショップの3月売り上げは14000円を超えている。
2. 昨年度は作業が切れる時期があり、その時間の過ごし方が課題になっていたが、現在では請負ではあるが作業の種類と量が増え、日々忙しく皆さんのやる気が増し、そのことが出席率アップにもつながっている。
3. 新規利用者の定着を確実にするために、新規利用者に対しては特に気配りをして、個別の対応を行っている。他の利用者に対しても、こまめな個人個人への声掛けと対応を心がけ、対話を大切に情報もらい、日頃の生活にも気を配れるようにしている。ピアつばめ全体がアットホームで温かい雰囲気となるようにスタッフ全員で心がけている。
4. 年間行事として、お花見、カラオケ、ボーリング、美術展・どんぐり村・一蘭の森見学などを行った。外出時の食事が利用者一番の楽しみとなっている。
5. 生活訓練事業については、再開について現在検討中。

ピアつばめ	1日平均(人/日)												
通所人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
28年度	11.4	11.9	11.1	12.4	12.1	11.5	12.1	12.6	14.0	15.3	13.7	13.0	12.6
29年度	13.8	13.0	14.6	15.1	14.8	15.6	14.4	14.1	14.4	14.0	12.9	15.0	14.3

## 授産への取り組み

## ● 活動報告

1. 自主製品制作と請負作業を組み合わせ作業を行っているが、作業量が増えたため、ここ数か月は従来の時給100円が110円にアップした。ボーナスは従来通り年2回支給できているが、利用者の頑張りに対してまだまだ十分とは言えない。
2. 花たわし制作は再開し、常連客がついており、また、レジンアクセサリーは単価が高いので、作業収入のアップに貢献している。さらに新しい手芸作品の開発も目指し、販路拡大に努めたい。
3. 目標だった漬物製造販売のための野菜づくりは、頻繁に畑に通えず、形や大きさが商品向けでなく、手作りランチやおやつに利用することはできたものの、販売までの道のりはまだ遠い。

## その他

## ● 実習の受入

西南学院大学人間科学部社会福祉学科、国際医療福祉大学

## ● 職員研修、スタッフ会議

随時実施

各人に必要な研修を積極的に行っていく。

## ● 行事

カラオケ、クリスマス忘年会

お花見、ボーリング、どんぐり村・美術展等見学等

調理実習

H29年度 職員体制	常勤	非常勤	常勤換算
	3	2	4.4

## 地域活動支援センター事業報告

## ● 事業目標

- ・地域で暮らす障がい者が、安心して過ごせる居場所作り、仲間と出会い交流をしたり、地域社会とつながる機会を持つことにより、地域で豊かな生活を送れるよう支援を行いました。
- ・「人と人がつながり支え合う」ことを大切にし、利用者の孤独感を軽減し、楽しみや役割を見出せるよう支援を行いました。
- ・職員の成長のため、研修会などに積極的参加しました。

## ● 事業報告

- ・安心して過ごせる場の提供、様々な相談対応、食事提供、サークル活動、電話相談などを行いました。
- ・利用者を常に温かく迎え、ひとりひとりの生活スタイルに合わせ、個別の相談にしっかり対応しました。
- ・つなぐ支援を意識し利用者が様々な場面で役割を持ち、自尊心を回復できるよう心掛け支援を行いました。
- ・職員が最低1回外部の研修に参加するよう心掛けました。

## I 型事業への取り組み

## ● 目標・課題

1. 個別支援の充実 (全ての利用者が「ここに来て良かった」と思えるような人と場の提供)
2. 交流事業の充実 (現在取り組みが十分でない活動の充実、家族学習会による家族支援)
3. 生活支援の充実 (栄養バランスに気を付けた食事提供の充実化を図る)
4. 地域交流の推進 (原公民館、校区人尊協、地域住民との連携)
5. ハード面の改善 (快適な空間を提供できるよう、施設の設備を整理し、美化に努める)

## ● 活動報告(具体的な内容)

1. より良い支援が提供できるよう、研修やOJTを充実させ、人材育成の強化に努めました。
2. 利用者からどのような活動が行いたいのか、希望を伺い実践できるものを実践しました。
3. フードバンクから食材の寄付を頂き、安い価格で充実した食事を提供できました。
4. つばめ祭を通して、地域の方にぷらっとの存在を知って頂くことができました。
5. 喫煙所のドアのストッパーが故障しており、早急に改善をするため現在対応中です。

## その他

## ● 実習の受入

平成29年度は、大学と専門学校から計3名の実習生を受入れた。西南学院大学、高知県立大学、フチガミ医療福祉専門学校など。また、国際医療福祉大学より、看護学部の生徒を1日実習で13名受け入れました。

## ● 職員研修、スタッフ会議

職員の資質向上、援助技術の充実をはかる為、それぞれの経験年数や立場、能力に応じた専門研修、キャリアパス研修等の受講を積極的にすすめた。また職場内研修として、個人情報取り扱い、虐待防止に関する研修を行う。スタッフ会議は毎週月曜日に行う。

## ● 経営面に関して

平成29年度より、相談支援センターが西区に移動し、相談支援センターと按分していた経費を一施設で負うこととなり、赤字経営となっております。現在、対策を検討しております。

H29年度 職員体制	常勤	非常勤	常勤換算
	3	3	4.2

## ぷらっと通所・相談電話件数

通所人数	1日平均(人/日)												平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
28年度	33.6	34.2	34.4	35.4	32.7	32.0	37.0	33.9	31.7	28.5	29.1	30.4	32.7
29年度	31.5	38.5	37.3	34.5	35.5	39.7	33.1	30.7	33.8	28.9	29.8	32.1	33.8

相談電話	1日平均(人/件)												平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
28年度	11.1	12.4	12.1	13.5	16.8	14.0	14.3	15.5	17.0	18.8	16.7	13.8	14.7
29年度	19.9	21.2	18.7	16.9	16.0	14.9	16.9	13.0	14.0	17.5	20.3	20.0	17.4

**地域生活支援拠点等の整備事業**

● 事業目標

- 1.ネットワークの構築
- 2.相談支援事業所のネットワーク構築
- 3.相談支援事業所に対する専門的な指導・助言・人材育成
- 4.地域福祉の基盤づくり
- 5.緊急時の対応についての取組

● 事業報告

- ・区内の福祉サービス事業所より実行委員を集い、区内ネットワークの構築の為、研修会(西サポネット)の実施。(H29年度第1回研修会(61名)、第2回研修会(51名)の参加。\*実行委員会:毎月第3金曜日実施)
- ・ネットワーク構築に伴い、サービス事業所の情報収集を行い、冊子として配布。
- ・いきいきセンターとの連携を行い、民児協の参加、圏域会議の参加を行う。
- ・相談支援事業所の集まり【西区相談あつまろう会】実施  
(3ヶ月に一度、計4回実施:区内13事業所の参加)
- ・新規事業所の立ち上げ申請相談の実施
- ・各相談支援事業所の個別ケース相談への対応
- ・『区民児協総会』:出席(基幹相談支援センターの事業説明)
- ・『高齢者・障がい者個別支援に関わるネットワーク会議』:参加(基本業務説明)
- ・地域移行検討会議:出席(油山病院)
- ・『圏域会議』:出席
- ・『校区民生委員会』:出席
- ・伊都の丘病院、春日病院、今宿病院への地域連携に向け聞き取りの実施
- ・地域ふれあいカフェ:参加
- ・Fネット会議:出席

**個別支援事業**

相談受付件数	(月あたり合計/人)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精神	4	3	6	7	3	6	1	5	3	3	4	4	49
知的	2	2	5	3	2	1	2	3	3	4	0	0	27
身障	0	1	1	3	2	1	3	0	3	3	4	5	26
発達	0	0	0	0	0	0	2	2	1	4	3	8	20
不明	2	3	3	0	0	0	1	2	1	4	6	0	22
計	8	9	15	13	7	8	9	12	11	18	17	17	144

**その他**

● 講演

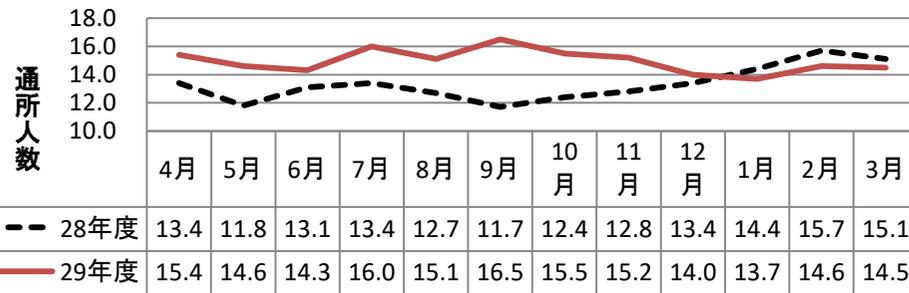
- ・今津特別支援学校PTA(基本業務説明)
- ・生の松原特別支援学校PTA(基本業務説明)
- ・ピアスタッフスキルアップ研修での講演
- ・『社会復帰支援ネットワーク』(コーディネーターとしての役割をテーマに講演)
- ・『西区精神障害者家族講座』(自立に向けてをテーマに講演)
- ・『居宅介護支援事業所連絡会』(連携事例の報告)

● 職員研修

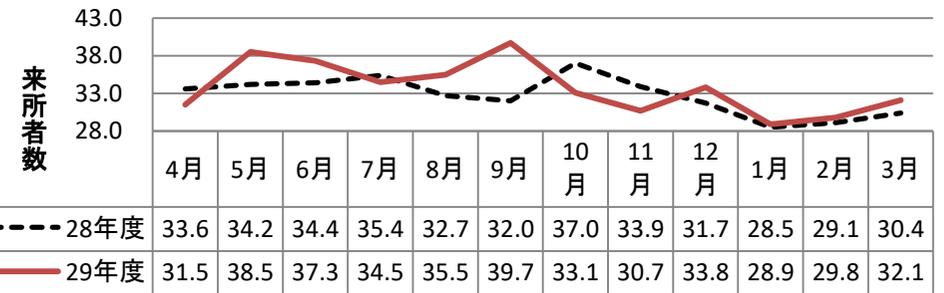
- ・サービス等利用計画作成研修(基幹センター向け):年6回
- ・発達障がいつなぐ会:出席(年2/4回)
- ・就労支援連絡会(年6回)
- ・地域移行支援に関する従事者研修会
- ・相談支援専門員現任者講習(基幹職員コース)
- ・サービス管理責任者研修
- ・アディクション関連問題研修会
- ・福岡市精神保健福祉協議会研修
- ・引きこもり支援者研修会

H29年度 職員体制	常勤	非常勤	常勤換算
	4	0	4.0

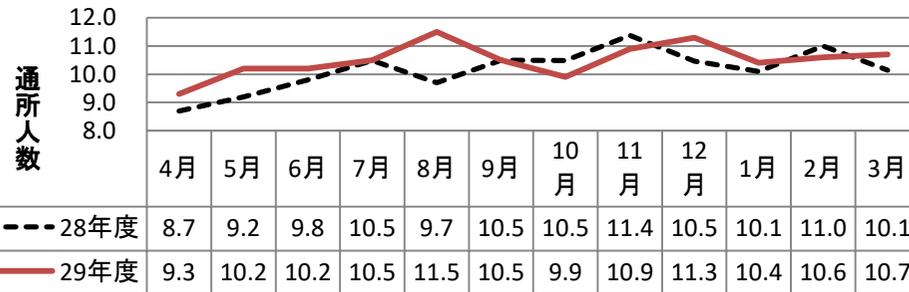
### 原作業所



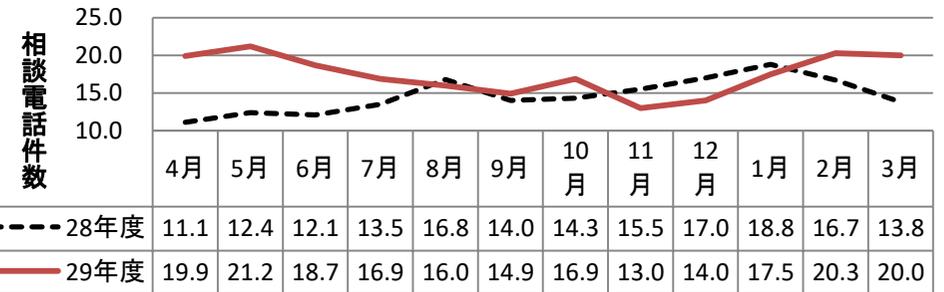
### ぷらっと



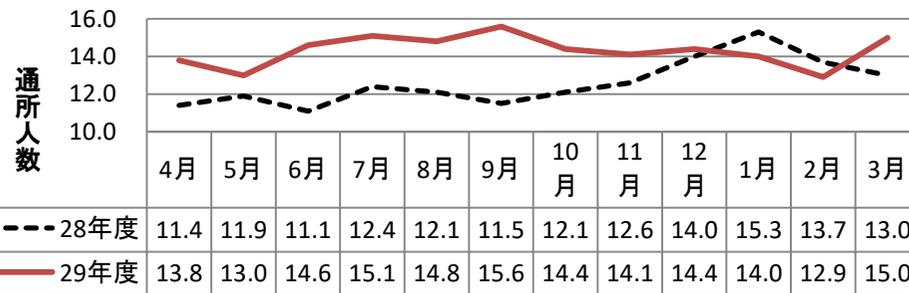
### オアシス



### ぷらっと



### ピアつばめ



### 西区第1障がい者基幹相談支援センター

